

大阪・関西万博開催に向けた意見

御所属 関西広域連合長 御名前 井戸 敏三 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

○大阪・関西万博の開催に期待し、関西全体で盛り上げたい。関西広域連合としても、積極的に参画していく。

「2025年大阪・関西万博」の開催は、世界レベルのライフサイエンス分野の大学・企業・研究機関が集積する関西の強みをさらに伸ばす機会である。

関西広域連合においても、関西のライフサイエンス関連の産官学が結集した「関西健康医療創生会議」を設立し、様々な取組を展開している。

また、関西の厚みのある歴史や文化、多様な地域の魅力を国内外の人々に知っていただき、さらには交流を通じて関西の活性化につながるものと大いに期待しており、関西全体で盛り上げていきたい。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

○大阪・関西万博の具体化の検討にあたっては、大阪だけでなく、常に関西全体を視野に入れ、関西広域の視点を持って検討すること。併せて次世代を担う若者の意見を取り入れることを検討されたい。

関西には世界レベルのライフサイエンス分野の集積や厚みのある歴史・文化、多様な地域の魅力があり、大阪・関西万博の具体化の検討にあたっては、こうした資源の活用努めると共に、大阪だけでなく、常に関西全体を視野に入れ、関西広域の視点を持って検討されたい。

併せて、次世代を担う若者の意見を取り入れることを検討されたい。

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

○サテライト会場の開設を検討すること。

万博のメイン会場は「夢洲」となるが、「ビッドドシエ」にもあるように会場外の施設や地域との連携を図ることは、この万博を大阪・関西で開催する大きな意義になると考える。

関西全域で、どのように万博会場と連携した取組(サテライト会場の設置、関連イベントの実施等)を行うかの検討にあたっては、関西の自治体とも十分に意見交換し、具体化に向けて積極的に検討されたい。

○ 関西3空港等関西圏域にある空港の活用や、海上アクセスの開設等、大阪湾ベイエリア区域全体の活用を視野に入れて検討すること。

サテライト会場の開設やイベントの開催、会場へのアクセス等については、大阪湾ベイエリア区域全体の活用を視野に入れて検討を進める必要がある。

神戸等の西側地域を含めた交通アクセスについては、万博会場が「夢洲」となることの立地条件を生かし、高速艇等の海上交通の活用について検討されたい。

万博では、国内外から多くの来場者が見込まれる。拡大する航空需要を関西全体で取り込み、関西経済の浮揚につなげていくためには、関西3空港の活用を図ることが必要である。

また、徳島阿波おどり空港や、南紀白浜空港などの関西圏域に存在する空港の活用も図られたい。

4. そのほか、御自由に御意見を申し上げます。

○ 「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」のレガシーを万博につなぐとともに、万博のレガシーをその先へとつなぐこと。

2021年には、世界最大の生涯スポーツ大会「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」が、国内外から約5万人の参加を得て、アジアで初めて関西で開催される。この大会は、生涯スポーツを通じて健康増進を図ることを目的として開催するものであり、「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博のテーマにもつながる。

この大会を通じて世界に発信される生涯スポーツの意義はもとより、関西全体の観光・文化の魅力や広域周遊ルートの定着、観光案内板等の多言語化や無料Wi-Fi整備の促進による地域の国際化等をレガシーとしてしっかりと万博へつなげていく必要がある。

万博についても、一過性のイベントに終わらせずに、その先へとレガシーをしっかりと引き継ぐ必要がある。

以上